

## Title: 「一生で一度のワープ」



一生で一度のワープ &gt; 2008年09月 アーカイブ



鈴木 里実  
1987年東京生まれ。  
女だらけの中で生きてきました。  
甘えまくって生きてきました。  
半年ワープしてきます。  
大人になって帰ってきます。

## ● 最近のエントリー

- ☑ [一生で一度のワープ ラスト](#)  
(2008.09.11)
- ☑ [一生で一度のワープ 4](#)  
(2008.09.11)
- ☑ [一生で一度のワープ 3](#)  
(2008.09.11)
- ☑ [一生で一度のワープ 2](#)  
(2008.09.11)

## ● アーカイブ

- ☑ [2009年02月](#)
- ☑ [2008年12月](#)
- ☑ [2008年11月](#)
- ☑ [2008年10月](#)
- ☑ [2008年09月](#)
- ☑ [2008年08月](#)
- ☑ [2008年07月](#)
- ☑ [2008年06月](#)
- ☑ [2008年05月](#)
- ☑ [2008年04月](#)
- ☑ [2008年03月](#)

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

08.09.11

## 一生で一度のワープ ラスト

[Tweet](#)[Check](#)

「一生で一度のワープ ～183日間～」  
残すところあと7日間。  
FW4期生&5期生のみなさま。  
さらにこのブログを読んでまだFWに入るか迷っている方々。  
もしいらっしやればその全ての方々にお伝えします。  
たとえどんなにお金がかかっても  
そのお金を用意するのがどんなに大変だったとしても  
旅に出るのが怖くても  
なんでもいいからとりあえず船に乗ってください。  
FW生として絶対にアジアに出てください。  
二度と経験できない様々な出来事が待っています。  
日本にいたら体験出来ないことだらけ。  
120%プラスになります。  
絶対に後悔はしないはずです。  
私にとってこの半年間は  
どれほど大きな財産になったかわかりません。



色んな人に出会って  
色んなものを見て  
色んなものを食べて  
泣いて怒って突って  
考えさせられて  
迷っては悩んで  
突っ込んで失敗して  
それでも  
「やれば必ず状況は変わっていく」

終わってほしくないよー！！！！

カテゴリ:

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.09.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

一生で一度のワープ &gt; 2008年09月 アーカイブ

## 一生で一度のワープ 4

[Tweet](#)[Check](#)

ふくよかで太陽のような女性。  
神様は見えていてくれました。  
彼女がどんな人生を歩んで来たのか  
彼女は今どんな思いで生きているのか...  
聞いた瞬間、言葉に詰まりました。  
そして私だけではなくもちろん彼女も。

もしこれが「取材」じゃなかったらこれ以上は聞きません。  
でも私はあなたの人生にちゃんと向き合いたい。  
だから知りたい。  
あなたのことをちゃんと知りたい。  
この旅の全てをかけて、そう伝えました。  
彼女はしばらく黙って  
ゆっくりと少しずつ話してくれました。  
一通り話してくれたあと、  
「...でも、もう大丈夫よ」と、  
そう微笑んだ彼女の目から一粒の涙がこぼれ  
私はとても胸が痛くて、おもわず彼女の手を握ったら  
私の手の甲には次々と涙が落ちてきて  
彼女はそのままトイレへ駆け込んで  
壁を叩きながら自分の田舎に帰った彼女の涙の粒を

見つめてただただ泣いていました。  
こどもみたいにヒックヒックいいながら  
「ごめんなさい...」しか言えなくて。  
全ての流れが  
まるで彼女と私を引き合わせたかのように  
この出会いが運命だと思えるほどに。

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.09.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワープ](#) > 2008年09月 アーカイブ

## 一生で一度のワープ 3

[Tweet](#)

[Check](#)

「さあ、どうする...」  
焦りで胸が張り裂けそうだった。  
とりあえずタクシーに乗り込んだものの  
行き先は決まっていなくて  
というかもわからない  
さらにダメだった場合なんて  
考えてなかった  
この旅のラストがこんな形で終わるのだけは  
どうしても避けなければならない。  
あとひとり... だれか...

誰でもいいわけではない  
まずは私その人を「知りたい」と思えないことには始まらない。  
人数だけ稼いだって 表面上広がったって  
中身がべらべらじゃ意味がない  
冷静じゃない頭をフル回転させながら  
この旅の最後になるであろう女性を探す。

いる。  
一人だけ、惹かれた女性がいる。  
取材相手としては全然考てなかったけど  
ただ純粋に知りたいと思える人ならいる。

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.09.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワープ](#) > 2008年09月 アーカイブ

## 一生で一度のワープ 2

[Tweet](#)

[Check](#)

私は働く女性の取材をしたい。飼育員さんの撮影がしたい。  
ウーマンとかシェディーとかガールとか  
もう何回言ったかわからない。  
でもなんかおかしい。  
紹介されるのは男性ばかりで  
いっこうに「彼女」は現れない。  
「すみません、何度も言う様ですが.....」  
もう一度説明をする。  
「え、女性！？ 女性なんてうちにはいないよ」  
「.....。」

頭が真っ白だった  
「彼女」は最後にかけた取材相手だった

いや、むしろ「彼女」なんか最初から存在してなかった  
しつこいくらいに説明しただけに  
自分が悪かったなんて到底思えない

なんでこんなことが起るんだろう...

サファリTシャツの男性に囲まれ  
オフィスに戻る  
正直もう冷静なんてどこにもなかった  
「なんでいないの！？いるって言ったじゃん！！！」  
園長は私に興味すらない表情で  
「あら、女性だったの？」的な返し。  
目の前の光景が二重になり三重になり  
ポロポロ泣いてオフィスを出た  
動物園で泣いている日本人の女子がそんなに珍しいのか  
お客さんはみんな動物より先に私を見ていた

こどものお遊びに付き合わされた感覚だったのだろうか  
私の英語がひどいから最初から聞く気すらなかったのか  
理由はよくわからない。  
それでも結局は自分の力不足...なのだろう。

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.09.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワープ](#) > 2008年09月 アーカイブ

## 一生で一度のワープ 1

[Tweet](#)

[Check](#)

最後の最後。  
取材相手はマレーシア国立動物園の飼育員さん

たった一枚の写真を撮るために  
むしる彼女に会うために  
何枚もの書類を書かされ  
いっぱい質問され  
様々なチェックが入る  
1回目も2回目も  
彼女に会わせてもらうことすらできなかった  
「撮らないことには始まらない」  
どんなに焦っても  
今の私には時間がなくても  
相手には全く関係のない話で  
当然のように相手は相手のペースで動く  
3回目の訪問。  
前日に電話で確認を取るほど  
入念に進めてきた取材のはずだった...

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.09.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

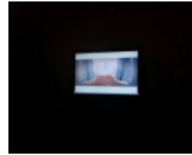
[一生で一度のワープ](#) > 2008年09月 アーカイブ

08.09.07

## 時間がない！？

[Tweet](#)

[Check](#)



リアクションをもらうためには  
自分からアクションを起こしてなんぼ  
という当たり前なことを痛感する  
言うか言わないか迷った  
たった一言を  
言ったことで展開が変わる  
そのやりとりがあるから  
面白いはずなのに

なんかうまく操れない

もっと...

もっと.....

心臓フサフサにしたい。

とりあえず、



久々の再会で  
テンションあがりました♡

カラダにピー-----ス！！  
一生あなたについていきます。

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.09.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)